

TOSHIBA

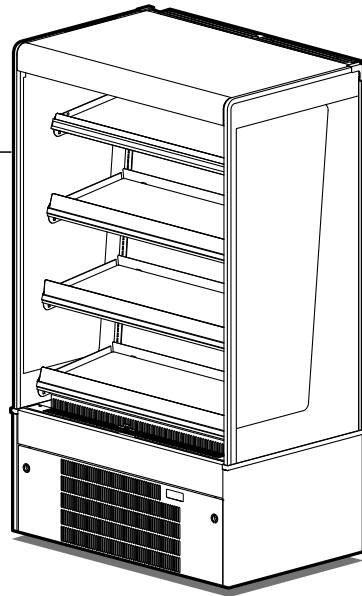
Leading Innovation >>>

東芝インバータ搭載オープンショーケース（業務用）

取扱説明書

形名

SH-321DCSC-LSN
SH-211DCSC-LSN
(冷蔵&温蔵)



もくじ

安全上のご注意	1～5
各部のなまえとはたらき	6
安全上のご注意ラベルについて	7
使いかた	7～17
お手入れと点検のしかた	17～19
修理を依頼される前に	20
仕様	21
保証とアフターサービス	23

このたびは東芝インバータ搭載オープンショーケースをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。



- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■表示の説明




表 示	表 示 の 意 味
 警告	「誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。 ^{※1}
 注意	「誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。 ^{※2}

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

※3：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

据え付けのとき



専門業者に依頼

据え付けは販売店または専門業者に依頼する

据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。



禁止

指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない

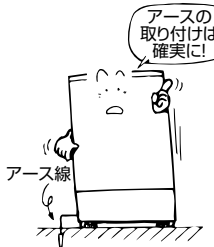
指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。



アースの確認

アースが取り付けられているか確認する

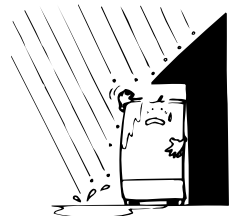
アースを取り付けないと故障や漏電のとき感電の原因になります。アース工事は、電気工事業者によるD種接地工事が必要です。



雨、水禁止

雨や水のかかるところで使用しない

この製品は屋内で使用する。雨や水のかかるところ、湿気の多いところで使用すると、漏電や感電の原因になります。



電源は専用コンセント、専用回路を使用する



専用電源

この製品は電源電圧100Vで使用します。

100V専用コンセント、専用回路を使用すること。

電源コードを途中で接続したり、延長コードを使用した場合、あるいはタコ足配線で使用すると感電や発熱・火災の原因になります。



⚠ 警告

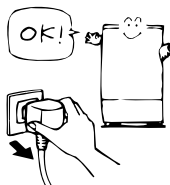
お使いのとき

電源プラグは必ずプラグの先端を持って引き抜く



プラグを
持って抜く

電源コードを引っ張って抜くと芯線が断線し発熱・発火する原因になります。



濡れた手で電源プラグの抜き差しや、スイッチを操作しない

感電の原因になります。



濡手禁止



掃除するときや点検のときは必ず運転を停止し、配電ブレーカを切ってから電源プラグを抜く



プラグを
持って抜く

感電したり、内部でファンが高速で回転していますのでけがの原因になります。



長期間使用しない場合は、安全のため配電ブレーカを切ってから電源プラグをコンセントから抜く



プラグを
持って抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



差し込みがゆるいコンセントを使用したり、電源コードを傷つけたりしない



禁止

感電やショートして発火の原因になります。また、電源コードに重いものを乗せたり、加工したり、必要以上に引っ張ったりすると電源コードが破損して感電や火災の原因になります。



異常なとき(こげ臭いなど)は運転を中止し、配電ブレーカを切ってから電源プラグを抜く



異常時は
電源を切る

異常のまま運転を続けると感電や火災の原因になります。お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご相談ください。

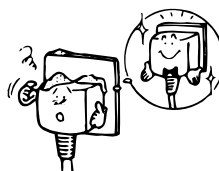


電源プラグに付着しているホコリをとる



点検掃除

ホコリが付着したり、コンセントへの接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



飲料・ドリンク剤以外のものを陳列しない



品質低下などの原因になります。



禁止

雨や水のかからない場所に保管する

再使用のときに漏電や感電の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

お使いのとき

製品に乗ったり棚にぶらさがったりしない

転倒し、けがの原因になります。



禁止



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造はしない

異常動作をしてけがをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。



分解禁止



揮発性、引火性のあるものは庫内に入れない

爆発や火災の原因になります。



禁止



専門業者

移設は専門業者または、販売店に相談する

据え付けに不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。

製品に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止



専門業者

製品を廃却するときは、専門業者または販売店に依頼する

放置しますと幼児が遊んだり、いたずらして事故の原因になります。

警報が表示された時は運転しない

温度表示部に警報が表示されたときは、表示内容を確認して漏電遮断器を切りにし、電源プラグを抜いてください。

運転を続けると感電や火災などの原因になります。



禁止



動作確認

漏電遮断器は月一回動作確認をする

正常に動作しない場合や使用中に動作した場合はお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご相談ください。

故障のまま使用したり、無理な復帰は感電や火災の原因になります。



加温中はホット棚に手を触れない

やけどの原因になります。



手を触れない

⚠ 注意

据え付けのとき

引火しやすいもの、可燃性ガスを近づけない

ベンジン、アルコール、エーテル、接着剤など揮発引火性のあるもの、強燃性スプレーやプロパンガスなどの可燃性ガスは引火し発火の原因になります。



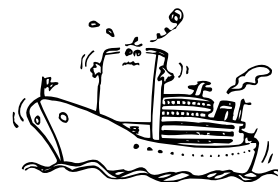
可燃物禁止



禁止

船舶・バス・列車など移動するものへの設置はしない

製品が故障したり、転倒し、けがの原因になります。

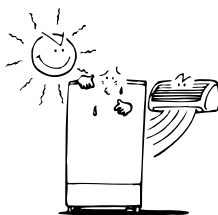


直射日光のあたるところや外気風速の影響を受けるところに据え付けない

直射日光があたったり、発熱器具、他製品の排熱、外気風速の影響を受けるところに据え付けると性能が低下する原因になります。



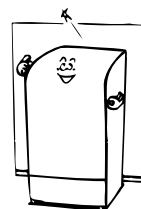
熱禁止



転倒防止

転倒防止をする

地震にそなえて製品を固定してください。転倒によりけがの原因になります。



床は丈夫で平らな所に水平になるように据え付ける

据え付けに不備があると振動・騒音および排水不良発生の原因になります。また、転倒・落下によるけがの原因になります。



設置注意

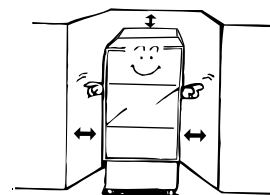
平らな場所とは天井板の高さより、おもりをつけた糸をつるして、本体最下部と糸の間が1センチメートル以内になるようなところです。



隙間を開ける

周囲を10センチメートル以上あけ、風通しのよいところに据え付ける

冷却能力が低下したり、空気がよどみ床や壁面の結露から周囲を濡らす原因になります。



10cm以上は必ず!

製品が容易に移動しないようアジャストボルトを床面まで下げる

地震などの振動により移動し、けがの原因になります。



強制

安全上のご注意 (つづき)

⚠注意

お使いのとき



禁止

側面ガラスに物をあてない

ガラスに物をあてると割れたりして、けがの原因になります。



禁止

棚には重いものを載せない

25kg以上のものを載せないでください。棚が変形する原因になります。



禁止

棚は正しくセットし、物を投げ入れない

棚の脱落によりけがの原因になります。



手で触れない

コンデンサ(凝縮器)を掃除するときは直接手で触れない

けがの原因になります。



慎重に移動

製品を移動させるときは電源プラグを抜いて慎重に動かす

電源プラグをコンセントから抜いて中身商品、およびドレン受けの水を出します。次にドレン皿・棚をはずしてアジャストボルトを上げて慎重に移動させてください。電源コードの損傷により感電や火災の原因、中身商品の落下によりけがの原因、水漏れや水の飛散により漏電や感電の原因になります。



ドレン水注意

ドレン水はこまめに捨てる

ランプとブザーでお知らせします。湿気の多い日は、こまめにドレン水を捨ててください。ドレン皿より溢れ周りの品物や床が濡れる原因になります。



禁止

製品の上に物をのせない

製品が故障したり商品が落下しけがの原因になります。また、水などの液体がこぼれると漏電・感電の原因になります。



禁止

吸込口・機械室内に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しているので、けがの原因になります。



飲食品保存

飲食品の保存を目的に使用する

この製品は飲食品を保存するものです。それ以外の目的に使用する場合は商品の品質が低下する原因になります。



禁止

同時に2枚以上の棚を引き出さない

製品が倒れ、けがの原因になります。



譲渡時注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を本体の目立つ所にテープ止めしてください。



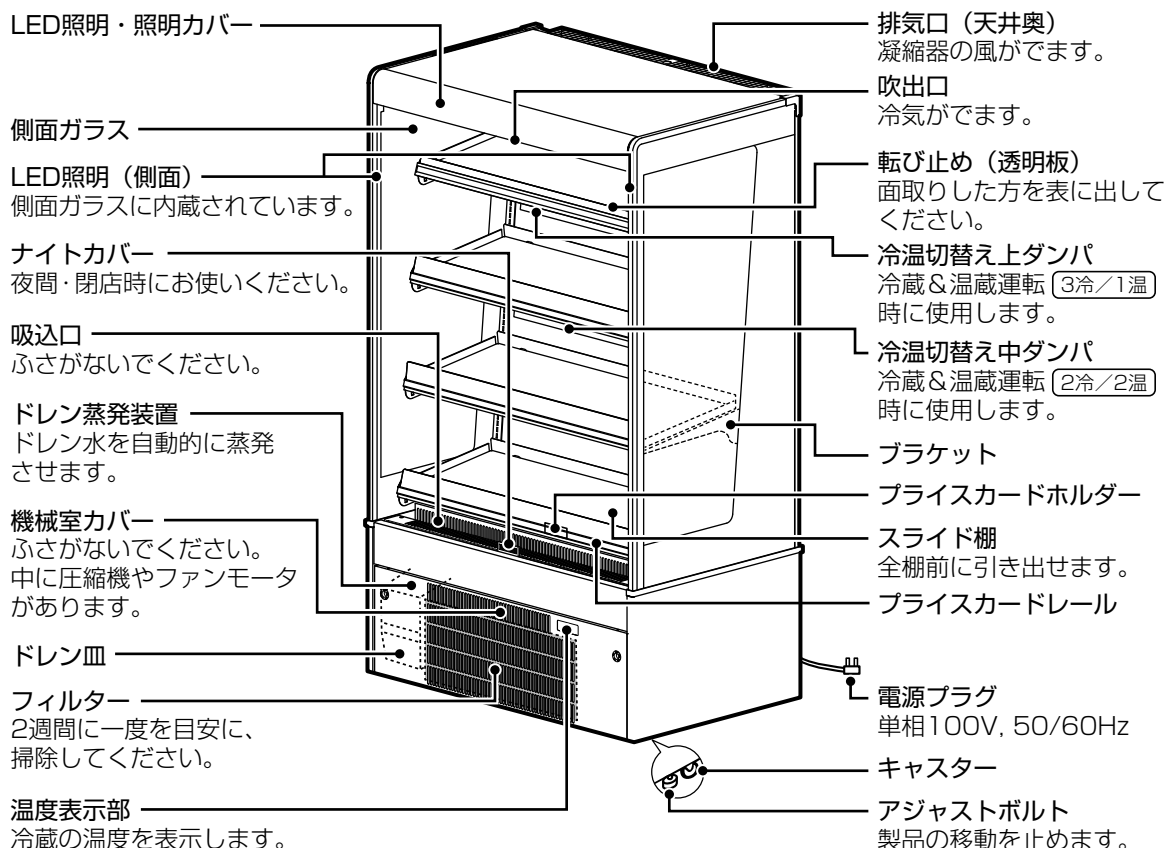
禁止

ナイトカバーを開閉するとき、途中で手を離さない

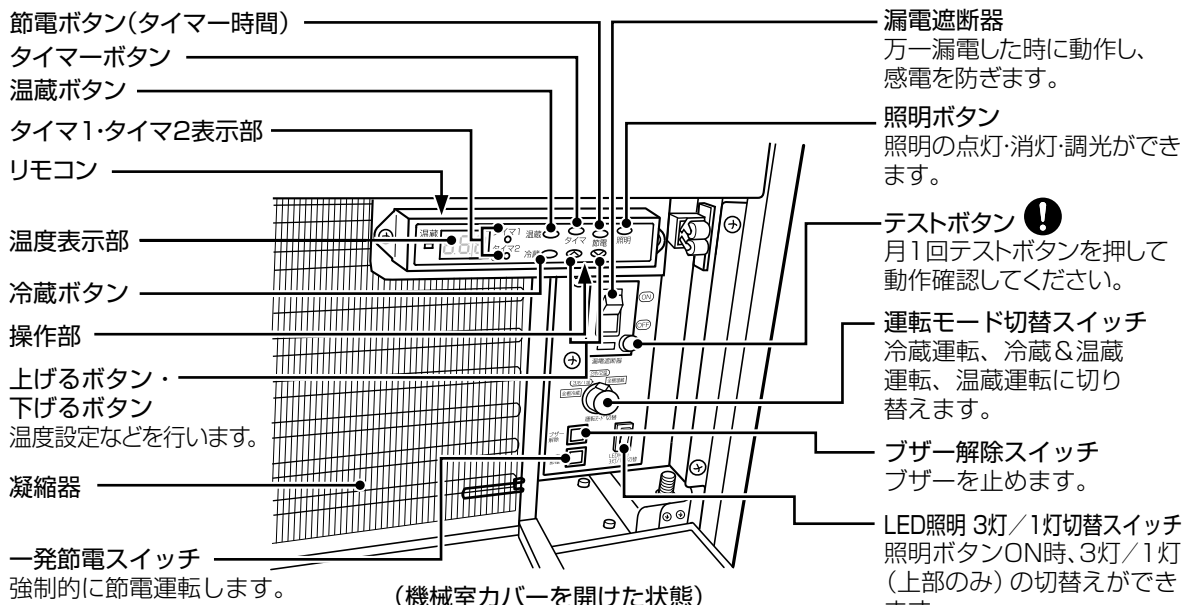
ナイトカバーが商品にあたり落下したり、体にあたったりして、けがの原因になります。

各部のなまえとはたらき

正面

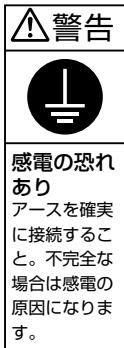


機械室



安全上のご注意ラベルについて

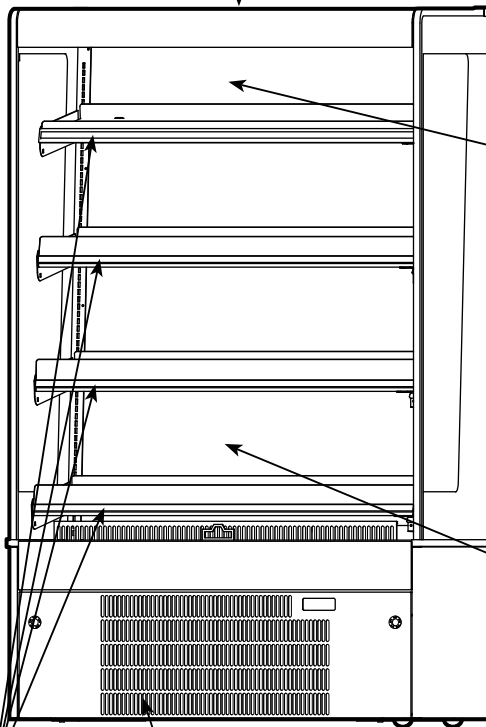
特に重要と考えられる事項について、注意ラベルを貼り付けています。
表示内容を確認し安全にご使用ください。



(背面下部に貼っています)

＜お願い＞

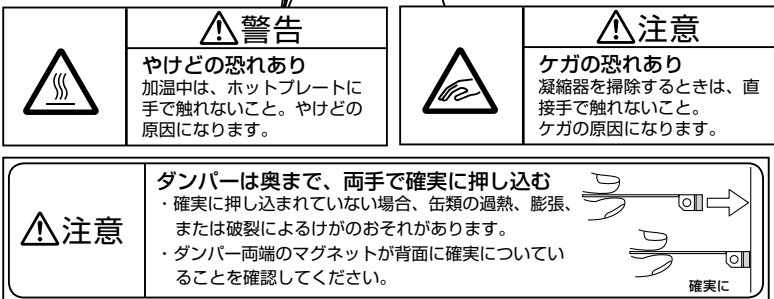
本体に貼り付けの注意ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は販売店より購入して貼り替えてください。



(庫内背面ダクトに貼っています)



(庫内背面に貼っています)



使いかた

準備



- アースが取り付けられているか確認する
アースを取り付けないと故障や漏電のとき感電の原因になります。
アース工事は、電気工事業者によるD種接地工事が必要です。

■アースの確認

このショーケースの電源コードは2芯です。
アース工事は、電気工事業者によるD種接地工事が必要です。

冷蔵&温蔵の運転のしかた

警告

- 濡れた手で電源プラグの抜き差しや、スイッチの操作をしない
感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張って抜くと芯線が断線し発熱・発火する原因になります。

このショーケースは、[全棚冷蔵運転] と [冷蔵&温蔵運転] と [全棚温蔵運転] の3種類の運転ができます。

- [冷蔵&温蔵運転]には [3冷/1温] [2冷/2温] の2モードができます。
- 工場出荷時の運転状態は [全棚冷蔵運転] [全棚冷蔵] に設定しています。

〈全棚冷蔵としてお使いになるとき〉

全棚が冷蔵運転となります。 [全棚冷蔵]

お願い

温蔵から冷蔵運転に切り替えるときは、あたたまった商品を取り出し、庫内をさましてから [冷温切替えダンパ] の操作をしてください。冷凍サイクルの故障の原因になります。

- 冷温切替えダンパ位置は、上ダンパ、中ダンパ、すべてのダンパが開放状態 (③) にあることを確認します。

お願い

ダンパは奥まで、両手で確実に押し込んでください。

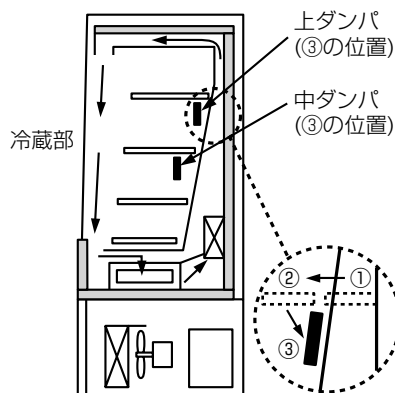
- 確実に押し込まれていない場合、缶類の過熱、膨張、または破裂によるけがの原因になります。
- ダンパー両端のマグネットが背面に確実に付いていることを確認してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 機械室カバーを開け、運転モード切替スイッチを [全棚冷蔵] にします。
- 漏電遮断器を「ON」にします。
 - 操作部の温度表示部は全点滅後、現状の冷蔵温度を表示します。
 - 冷却用ファンモータが運転を始めます。
 - 圧縮機および凝縮用ファンモータは3分後に運転を始めます。

〈他の運転モードから [全棚冷蔵] に変更する場合のスイッチ操作〉

- 漏電遮断器を「OFF」にします。
- 冷温切替えダンパを上記所定の位置に変更して、運転モード切替スイッチを [全棚冷蔵] へ切り替えます。
- 漏電遮断器を「ON」にします。あとは、上記漏電遮断器「ON」と同じです。

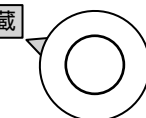
- プライスカードレールをすべて青色の面を表側(「COLD」側)に変更します。



→ : 冷氣循環 (冷蔵室)

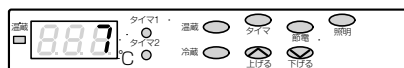
[2冷/2温] [3冷/1温] [全棚温蔵]

[全棚冷蔵]



運転モード切替

〈リモコン操作部〉



使いかた (つづき)

〈冷蔵&温蔵としてお使いになるとき〉



警告

- 加温中には、ホット棚に手を触れない
やけどの原因になります。
- 加温時には、炭酸飲料をホット棚に置かない
破裂によりけがの原因になります。

◆冷蔵&温蔵運転 (3冷/1温)

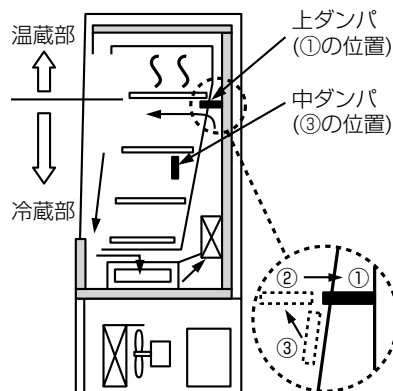
棚の下3段が冷蔵運転で、上段のみが温蔵運転となります。

- 冷温切替えダンパ位置は、上ダンパのみ閉めます (①)。
中ダンパは開放状態 (③) にあることを確認します。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 機械室カバーを開け、運転モード切替スイッチを (3冷/1温) にします。
- 漏電遮断器を「ON」にします。
 - 操作部の温度表示部は全点滅後、現状の冷蔵温度を表示します。
 - 温蔵表示 (赤ランプ) が点灯します。
 - 冷却用ファンモータが運転を始めます。
 - 約1分後にホット棚用ヒータの通電が開始されます。
 - 圧縮機および凝縮用ファンモータは3分後に運転を始めます。

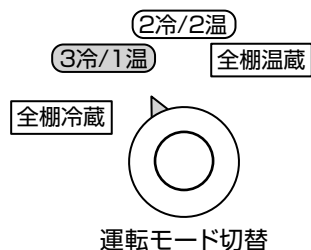
〈他の運転モードから (3冷/1温) に変更する場合のスイッチ操作〉

- 漏電遮断器を「OFF」にします。
- 冷温切替えダンパを上記所定の位置に変更して、運転モード切替スイッチを (3冷/1温) へ切り替えます。
- 漏電遮断器を「ON」にします。あとは、上記漏電遮断器「ON」と同じです。

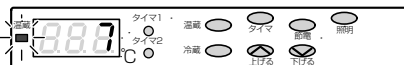
- プライスカードレールを上段は赤色の面を表側 (「HOT」側)、下3段は青色の面を表側 (「COLD」側) に変更します。



SS : ホット (温蔵室)
→ : 冷気循環 (冷蔵室)



〈リモコン操作部〉



◆冷蔵&温蔵運転 (2冷/2温)

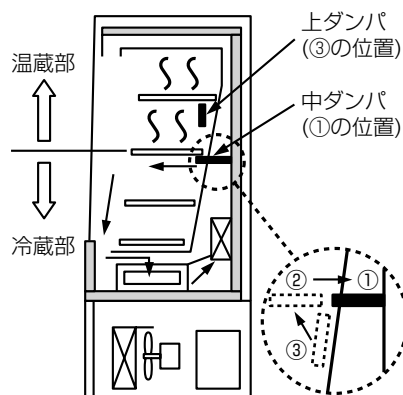
棚の下2段が冷蔵運転で、上2段が温蔵運転となります。

- 冷温切替えダンパ位置は、中ダンパのみ閉めます (①)。
上ダンパは開放状態 (③) にあることを確認します。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 機械室カバーを開け、運転モード切替スイッチを (2冷/2温) にします。
- 漏電遮断器を「ON」にします。
 - 操作部の温度表示部は全点滅後、現状の冷蔵温度を表示します。
 - 温蔵表示 (赤ランプ) が点灯します。
 - 冷却用ファンモータが運転を始めます。
 - 約1分後にホット棚用ヒータの通電が開始されます。
 - 圧縮機および凝縮用ファンモータは3分後に運転を始めます。

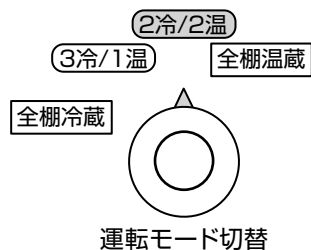
〈他の運転モードから (2冷/2温) に変更する場合のスイッチ操作〉

- 漏電遮断器を「OFF」にします。
- 冷温切替えダンパを上記所定の位置に変更して、運転モード切替スイッチを (2冷/2温) へ切り替えます。
- 漏電遮断器を「ON」にします。あとは、上記漏電遮断器「ON」と同じです。

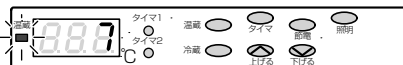
- プライスカードレールを上2段は赤色の面を表側 (「HOT」側)、下2段を青色の面を表側 (「COLD」側) に変更します。



SS : ホット (温蔵室)
→ : 冷氣循環 (冷蔵室)



〈リモコン操作部〉



使いかた (つづき)

〈全棚温蔵としてお使いになるとき〉

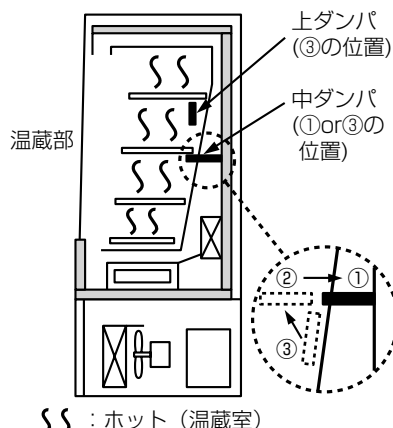


警告

- 加温中には、ホット棚に手を触れない
やけどの原因になります。
- 加温時には、炭酸飲料をホット棚に置かない
破裂によりけがの原因になります。

全棚が温蔵運転となります。 全棚温蔵

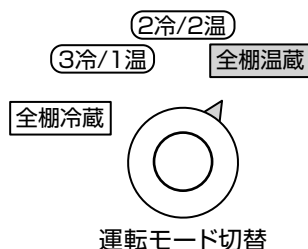
- 冷温切替えダンパ位置は、中ダンパのみ閉めます (①or③でも可)。上ダンパは開放状態 (③) にあることを確認します。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 機械室カバーを開け、運転モード切替スイッチを 全棚温蔵 にします。
- 漏電遮断器を「ON」にします。
 - 操作部の温度表示部は全点滅後、「**h0**」を表示します。
 - 温蔵表示 (赤ランプ) が点灯します。
 - 約1分後にホット棚用ヒータの通電が開始されます。
 - 冷却用ファンモータおよび圧縮機、凝縮用ファンモータは運転しません



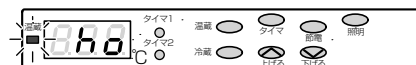
〈他の運転モードから 全棚温蔵 に変更する場合のスイッチ操作〉

- 漏電遮断器を「OFF」にします。
- 冷温切替えダンパを上記所定の位置に変更して、運転モード切替スイッチを 全棚温蔵 へ切り替えます。
- 漏電遮断器を「ON」にします。あとは、上記漏電遮断器「ON」と同じです。

- プライスカードレールをすべて赤色の面を表側(「HOT」側)に変更します。



〈リモコン操作部〉

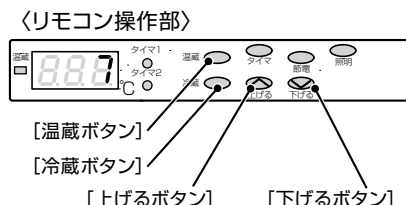


温度調節について

工場出荷時は適温になるよう、冷蔵は7℃、温蔵は55℃に設定して出荷しています。

〈冷蔵温度調節のしかた〉

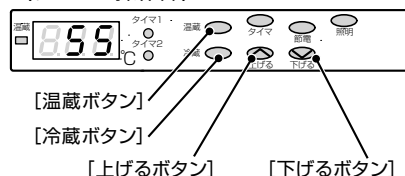
- 機械室カバーを開けると、温度操作部全体が見え温度調節ができます。
- [冷蔵ボタン] を押すと現在の設定温度で点滅を始めます。
- 設定温度を上げたい時は[上げるボタン]を、下げたい時は[下げるボタン]を押すと設定温度が変わります。
- 好みの温度に設定して、再度[冷蔵ボタン]を押すと点滅が終わり現在の庫内温度を表示し変更された設定温度で運転を始めます。(5～22℃で調整可)
…工場出荷時：7℃
- [冷蔵ボタン] を押して30秒間、なにも操作しなかった場合は点滅表示が終わり、変更前の設定温度での運転となります。



〈温蔵温度調節のしかた〉

- 機械室カバーを開けると、温度操作部全体が見え温度調節ができます。
- 〔温蔵ボタン〕を押すと現在の設定温度で点滅を始めます。
- 設定温度を上げたい時は〔上げるボタン〕を、下げたい時は〔下げるボタン〕を押すと設定温度が変わります。
- 好みの温度に設定して、再度〔温蔵ボタン〕を押すと点滅が終わり現在の庫内温度を表示し変更された設定温度で運転を始めます。(50～60℃で調整可)
…工場出荷時：55℃
- 〔温蔵ボタン〕を押して30秒間、何も操作しなかった場合は点滅表示が終わり、変更前の設定温度での運転となります。

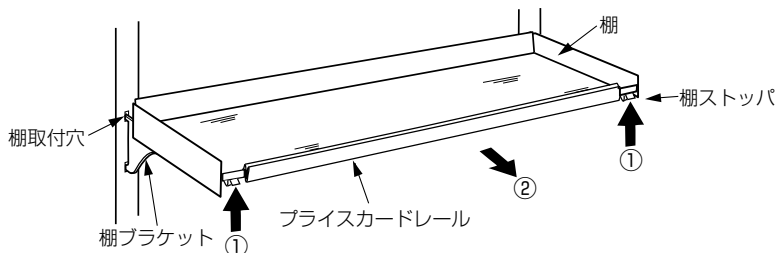
〈リモコン操作部〉



スライド棚の使いかた

⚠ 注意

- 棚は正しくセットし、物を投げ入れない
棚の脱落によりけがの原因になります。
- 棚には重いものを載せたり、ぶらさがったりしない
25kg以上のものを載せないでください。棚が変形する原因になります。
- 同時に2枚以上の棚を引き出さない
製品が倒れ、けがの原因になります。
- 下棚の商品に当たらないことを確認して引き出す
下棚の商品が落ちて、けがの原因になります。



〈棚の引き出し方〉

- 棚は、商品の陳列時に引き出すことができます。棚ストップを①矢印方向へ上げて、②矢印方向へ引き出してください。
- 元に戻すときは、そのまま押し込みます。必ず棚がロックされていることを確認してください。
- 棚の出し入れ操作は、ゆっくり行ってください。商品がずれたり、倒れたりします。

〈棚位置の変更〉

- 商品の高さに合わせて、棚の位置を15mm間隔で変更することができます。
左、右の棚ブラケットを棚取付穴から抜いて差し換えます。(上に持ち上げながら抜きます)
- 棚右奥の裏側からヒータ線が出ています。リード線を引っ張ったりしないでください。
- 棚の下にある冷温切替ダンパの開閉に支障がないように確認してください。

使いかた (つづき)

LED照明について

〈LED照明の点灯・調光・消灯のしかた〉

●機械室カバーを開け、リモコンを使用します。

○点灯のしかた

照明が消灯しているときに、リモコンの照明ボタンを3秒間長押しすることで、点灯できます。

○3灯／1灯切替えのしかた

照明が点灯しているときに、LED照明3灯／1灯切替スイッチを操作することで、照明を3灯（上部＋左右側面）、または1灯（上部のみ）に切替えることができます。

○調光のしかた

照明が点灯しているときに、リモコンの照明ボタンを1秒間長押しすることで照明の明るさを調整（5段階）できます。

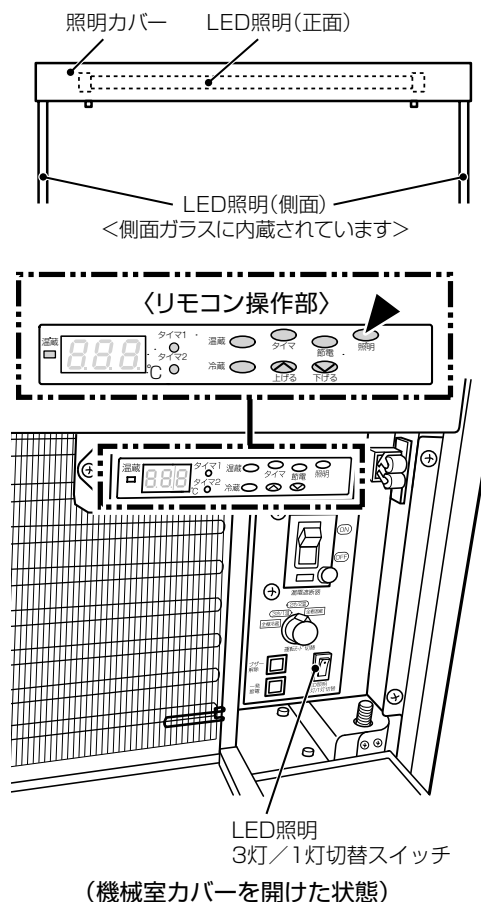
出荷時には最大輝度に調整されております。

明るさを1段階下げること、消費電力も約8W（3灯時）ずつ下がります。

○消灯のしかた

照明が点灯しているときに、リモコンの照明ボタンを3秒間長押しすることで、消灯できます。

（長押し中、調光が働きますが異常ではありません。）



ドレン皿の使いかた



注意

●梅雨時はドレン水をこまめに捨てる

ドレン皿より溢れ周りの品物や床が濡れる原因になります。

●湿気の多い日はドレン水を1日1回捨ててください。

1日以上留守にするときは、運転を止めるなどの処置をしてください。

お願い

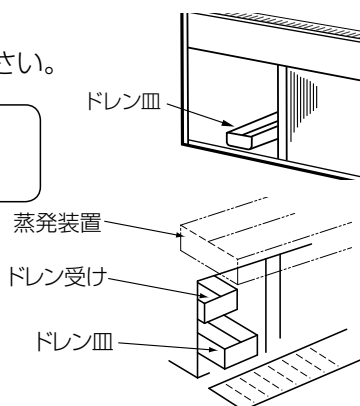
湿気の多い日には、天井板に露がつくことがあります。これは故障ではありません。ときどきふきとってください。

●製品を移動するときは、必ずドレン水を捨ててください。

捨てずに移動するとドレン水が機器内部に溢れ、漏電や火災の原因になります。

ドレン水は、ドレン受け・蒸発装置・ドレン皿に溜まっています。

詳しくは専門業者またはお買い上げの販売店にご相談ください。



節電について

このショーケースには節電運転機能が入っております。

節電運転には、一発節電とタイマー節電の2種類があるので、用途に合わせてご使用ください。節電運転中はリモコンの温度表示部に「ECO」の文字が表示されます。

また、他に13ページの照明の調光も節電機能の一つとしてご活用ください。

ご注意

節電機能を使用することで庫内温度が上昇します。陳列する商品には十分ご注意ください。

〈一発節電について〉

機械室の下部にある「一発節電」スイッチ(緑色)を使用します。

「一発節電」スイッチを3秒間長押しすることで、強制的に節電運転します。

節電運転は3時間継続され、3時間後、自動で通常運転へ切り替わります。

ただし、一発節電運転中に「一発節電」スイッチを3秒間長押しすることで、通常制御へ切り替えることができます。

使いかた (つづき)

〈タイマー節電について〉

リモコンのボタンを操作し、時刻とタイマーを設定することで使用することができます。

お客様が設定するタイマーにより、自動で節電運転および通常運転の切り替えを行います。

タイマー節電には、現在時刻、タイマー時刻、タイマー有効設定の3つの設定が必要です。

〈リモコン操作部〉 [タイマーボタン] [節電ボタン]



■時刻の設定方法 (現在の時刻を設定する方法)

- ① 「タイマ」・「節電」 ボタンを同時に3秒間押します。
- ② 温度表示部に「t-t」が3秒間表示され、時刻 (時:hour) の設定へ移行します。
「上げる」・「下げる」ボタンで時刻 (時:hour) を設定してください。(工場出荷時:表示部「[00]」)
- ③ 「タイマ」 ボタンを押し、時刻 (分:min) の設定へ移行します。
「上げる」・「下げる」ボタンで時刻 (時:min) を設定してください。(工場出荷時:表示部「[00]」)
- ④ 「タイマ」 ボタンを押し、時刻の確定選択設定へ移行します。
設定した時刻で確定する場合は「YES」、変更がある場合は「上げる」・「下げる」ボタンを押し、「_no」を選択します。
- ⑤ 「タイマ」 ボタンを押し、選択を確定させます。
「YES」: 設定した時刻にて、時刻を刻み始めます。
「_no」: 時刻は設定されず、温度表示へ戻ります。

ご注意

停電や漏電遮断器をOFFにした場合などで、電源が切れた場合は、時刻が消えます。

■タイマーの設定方法

- ① 「タイマ」 ボタンを3秒間押します。
「タイマ1」もしくは「タイマ2」が点滅しますので、「上げる」・「下げる」ボタンを押し、設定するタイマーを選んでください。
- ② 「タイマ」 ボタンを押し、タイマー入り時刻 (時:hour) の設定へ移行します。
「上げる」・「下げる」ボタンで時刻 (時:hour) を設定してください。(工場出荷時:表示部「[00]」)
- ③ 「タイマ」 ボタンを押し、タイマー入り時刻 (分:min) の設定へ移行します。
「上げる」・「下げる」ボタンで時刻 (時:min) を設定してください。(工場出荷時:表示部「~00」)
- ④ 「タイマ」 ボタンを押し、タイマー切り時刻 (時:hour) の設定へ移行します。
「上げる」・「下げる」ボタンで時刻 (時:hour) を設定してください。(工場出荷時:表示部「L00」)
- ⑤ 「タイマ」 ボタンを押し、タイマー切り時刻 (分:min) の設定へ移行します。
「上げる」・「下げる」ボタンで時刻 (時:min) を設定してください。(工場出荷時:表示部「J00」)
- ⑥ 「タイマ」 ボタンを押し、タイマーの確定選択設定へ移行します。
設定したタイマーで確定する場合は「YES」、変更がある場合は「上げる」・「下げる」ボタンを押し、「_no」を選択します。
- ⑦ 「タイマ」 ボタンを押し、選択を確定させます。
「YES」: タイマーの設定が完了します。(タイマー節電運転には、タイマーの有効/無効設定が必要です)
「_no」: タイマーは設定されず、温度表示へ戻ります。

■タイマーの有効設定方法

- ① 「節電」 ボタンを3秒間押します。
設定されている「タイマ1」もしくは「タイマ2」またはその両方のLEDが点滅します。
「上げる」・「下げる」ボタンで有効にさせるタイマーを選択してください。
表示部「t12」: タイマー1、タイマー2
表示部「t-1」: タイマー1
表示部「t-2」: タイマー2
- ② 「タイマ」 ボタンを押し、タイマーの有効設定へ移行します。
有効の場合は「YES」、設定しない場合は「上げる」・「下げる」ボタンを押し、「_no」を選択します。
- ③ 「タイマ」 ボタンを押し、選択を確定させます。
「YES」: タイマーが有効になります。
庫内温度表示と「ECO」が交互表示になります。
設定したタイマに応じてLEDが点灯します。
「_no」: 庫内温度表示へ戻ります。

ご注意

有効となったリモコンの「タイマ1」、「タイマ2」のLEDが点灯します。
停電や漏電遮断器をOFFにした場合などで、電源が切れた場合は消灯します。

■タイマーの無効設定方法

- ①「節電」ボタンを3秒間押します。
温度表示部に「End」が表示され、タイマLEDが消灯します。
- ②「タイマ」ボタンを押し、タイマーの無効設定へ移行します。
無効の場合は「YES」、変更しない場合は「_no」を選択します。
- ③「タイマ」ボタンを押し、選択を確定させます。
「YES」：タイマーが無効になり、通常運転のみとなります。(タイマー節電運転を行いません)
「_no」：庫内温度表示へ戻ります。

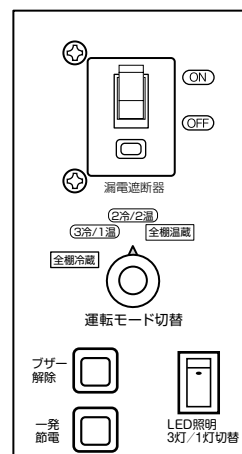
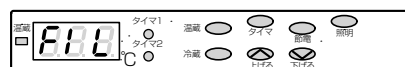
警報について

〈フィルタ清掃〉

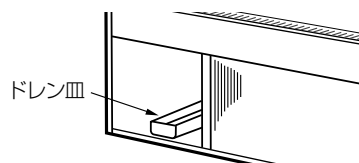
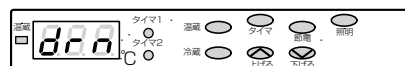
- フィルタにゴミがつまったり、外気温度が高いとき、リモコンに「FIL」の表示でお知らせします。
- フィルタのゴミを取り除いてください。
- 据付条件を改善してください。
- フィルタの清掃および据付条件改善後も、リモコンに「FIL」の表示が点滅する場合は、漏電遮断器を「OFF」にして電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに連絡してください。

〈ドレン点検〉

- ドレン皿に水が溜まると、リモコンに「drn」の表示とブザーでお知らせします。
- 機械室カバーを開けるとドレン皿があります。
引き出してドレン水を捨ててください。
[ブザー解除について]
 - ブザー解除スイッチを押すとブザーは止まりますが、リモコンの「drn」表示を継続します。
 - ドレン水を捨てずにブザー解除スイッチだけを押した場合、3分後に再度ブザーが鳴ってお知らせします。(繰り返します)

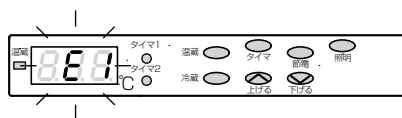


〈電気部品箱〉



〈その他警報〉

- センサーおよび機器異常時は、温度表示部が非温度表示となり、ブザーでお知らせします。
 - (例)エバ入口(TEI)用センサーが短絡／断線の場合「E1」(非温度表示)を点滅表示しブザーでお知らせします。
- 機械室カバーを開け、ブザー解除スイッチを押します。
 - ブザーが止まります。
 - 非温度表示の点滅表示は継続します。
- 温度表示部の表示内容を確認後、漏電遮断器を「OFF」にして電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに連絡してください。



使いかた (つづき)

〈点検コード表〉

点検コード リモコン7セグ表示	点検コード名	点検コード リモコン7セグ表示	点検コード名
FIL	凝縮器フィルタ詰まり	E71	凝縮器ファンモータ異常(1)
drn	ドレン水 水位異常	E72	凝縮器ファンモータ異常(2)
E1	蒸発器入口温度センサ異常	E81	蒸発器ファンモータ異常
E2	蒸発器出口温度センサ異常	E15	高圧スイッチ動作
E3	凝縮器出口温度センサ異常	E16	200V誤印加
E4	圧縮機吐出温度センサ異常	E17	電流異常
E9	庫内表示温度センサ異常	E18	照明異常
E10	庫内制御温度センサ異常	F1	IPDU基板通信異常
E11	圧縮機ケース温度センサ異常	F2	圧縮機保護異常
H1	棚温度センサ異常(1段目)	F3	圧縮機異常(ロック)
H2	棚温度センサ異常(2段目)	F4	圧縮機ブレークダウン
H3	棚温度センサ異常(3段目)	F9	圧縮機電流異常
H4	棚温度センサ異常(4段目)	EP	電源基板通信異常
H5	棚温度センサ異常(5段目)	EC	操作基板通信異常
E0	凝縮器温度異常	FO	圧縮機未運転検出
E5	吐出管温度異常	F8	圧縮機未運転検出
E6	圧縮機ケース温度異常		

お願い

このショーケースは飲食品の保存用ですが、食品を収容する場合は必ず密閉してください。
下記の食品類は特に強い腐食性ガスを発生させ、故障の原因になります。必ず密閉容器に入れるか、食品用ラップフィルムに包んでください。これ以外の食品についても同様に密閉して陳列してください。
また、缶商品などで内容物からガスが発生する場合があります。長時間加熱の際はご注意ください。

- 寿司米・惣菜・パン生地など酢酸・イースト菌を含んだ食品
- 納豆・豆腐・おから・あんこなど豆類とその加工品
- ゆでたまご・たまご焼きなど卵加工品
- キャベツ・ねぎ・たまねぎ・にんにくなどの野菜

お手入れと点検のしかた

ショーケースを長持ちさせ、いつも清潔にご使用いただくため定期的に点検およびお手入れをおすすめします。



警告

- 掃除するときは必ず電源プラグを抜く
感電したり、内部でファンが高速で回転していますのでけがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張って抜くと芯線が断線し発熱・発火の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しや、スイッチの操作をしない
感電の原因になります。

フィルターのお手入れ

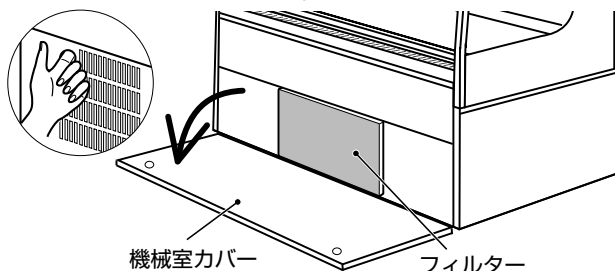
フィルターにゴミやホコリがたまると冷えが悪くなります。機械室カバーを開けて、フィルターを取り出して、2週間に1回、掃除機・はたきなどでフィルターのゴミを取ってください。

機械室カバー

丸穴に指をかけて、手前に引くと開きます。
斜めに引き上げるとはずれます。

フィルター

凝縮器の手前にあります。
2週間に一度以上、手前に引き出して掃除してください。



本体のお手入れ



警告

●本体に水をかけない

電気部品に水がかかると感電や火災の原因になります。

水またはぬるま湯をしみこませたやわらかい布できれいにふいてください。

- 40℃以上のお湯は使わないでください。
変形するおそれがあります。



揮発性のものは使わないでください。

- シンナーやベンジン、
みがき粉での掃除は
塗装やプラスチック
を傷めますので使用
しないでください。



排水口のお手入れ

必ずお買い上げの販売店に依頼してください。(有料)

スライド棚のお手入れ

スライド棚は商品が前に滑るように斜めになっています。

プレート面にゴミやホコリが付くと滑りが悪くなりますので、2週間に1回、乾いた布などでよくふいてください。

漏電遮断器の点検



警告

●漏電遮断器は月1回動作確認をする

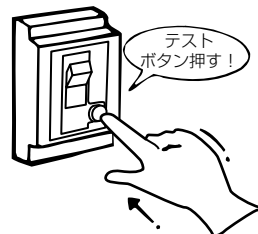
故障のまま使用しますと感電の原因になります。

●異常のときは電源プラグを抜く

感電や漏電火災の原因になります。

漏電遮断器は月1回動作確認をして、正常に動作することを確認してください。

- テストボタンを押したとき、スイッチレバーが「切」になれば正常です。
5分以上後にスイッチレバーを「入」にすれば再び運転します。
- 正常に動作しなかったり、使用しているときに漏電遮断器が動作した場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご相談ください。



お手入れと点検のしかた (つづき)

電源プラグとコードの点検

⚠ 警告

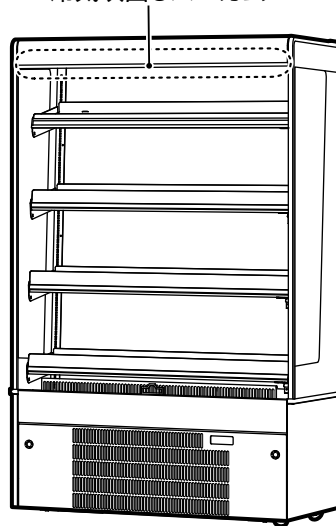
- タコ足配線はしない
発熱などにより火災の原因になります。
- 電源プラグに付着しているホコリをとる
ホコリが付着していたり、コンセントへの接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
- 傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない
感電や火災の原因になります。
- 自分で改造しない
電源コードを途中で接続したり、延長コードを使用した場合は感電や発熱・火災の原因になります。
- アースが取り付けられているか確認する
アースを取り付けないと故障や漏電のとき感電の原因になります。
アース工事は、電気工事業者によるD種接地工事が必要です。

異常がある場合は電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご相談ください。

冷氣吹出しハニカム(天井)のお手入れ

ハニカムは、長時間使用するとホコリなどで汚れます。
掃除機などでホコリを吸い取ってください。

冷氣吹出しハニカム



蒸発装置のお手入れ

⚠ 注意

- 蒸発装置を点検するときは直接手で触れない
けがの原因になります。

排水されたドレン水は蒸発皿に落ち、蒸発します。このとき吸水板が汚れると蒸発能力が低下し、ドレン皿に溜まる除霜水量が増えます。このようなときは吸水板を交換してください。

吸水板交換のめやす

- 一般的に吸水板は、約 1 ～ 2 年で蒸発能力が低下します。
- 吸水板を交換の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される前に

修理・サービスをお申しつけになる前に、次の点をお調べください。

これは故障ではありません

●ガラス面などに露がつく

湿気の多い日には、ガラス面・ガラス枠や天井板などに露がつくことがあります。

これは故障ではありません。ときどきふきとってください。

お調べください

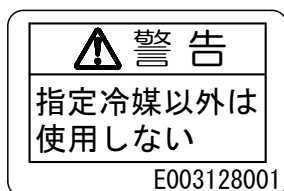
このようなときには	点検するところ	処 置
運転しないとき	<ul style="list-style-type: none">●停電ではありませんか。●電源ヒューズやブレーカが切れていませんか。●電源プラグがはずれていませんか。●漏電遮断器が「OFF」になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none">●通電されると自動的に運転されます。●電源ヒューズの交換またはブレーカを入れます。●電源プラグを差し込みます。●漏電遮断器を「ON」にします。●フィルターを清掃します。●コンデンサを清掃します。
異常音がするとき	<ul style="list-style-type: none">●製品がガタついていませんか。●床が水平でしっかりしていますか。●壁や品物に当たっていませんか。	<ul style="list-style-type: none">●アジャストボルトで水平に調整します。●当たりをなくします。
よく冷えないとき	<ul style="list-style-type: none">●品物を入れたばかりではありませんか。●外気の風速が高くありませんか。●直射日光があたっていたり、熱器具などそばにありませんか。●フィルターにゴミがつまっていますか。●製品の周囲に物がたくさんありませんか。●吹出口や吸込口がふさがれていませんか。●冷却用ファンモータが止まっていますか。●温度設定を確認してください。高すぎではありませんか。●冷温切替えダンパが間違っていますか。	<ul style="list-style-type: none">●1～2時間、間をおいてみてください。●外気の風速を低くなるよう処置します。●直射日光の遮断、熱器具を製品から離します。●フィルターを掃除します。●天井板後部、機械室カバーの吸込口を確保します。●ふさいでいる物を取り除きます。●冷却用ファンモータを確認し原因を取り除きます。●適正な温度に設定します。(工場出荷時：7℃)●冷温切替えダンパを正規にします。
よく温まらないとき	<ul style="list-style-type: none">●品物を入れたばかりではありませんか。●商品の出し入れがひんばんではありませんか。●外気温度が10℃以下ではありませんか。●冷温切替えダンパ位置が間違っていますか。●外気風速が高くありませんか。●温度設定を確認してください。低すぎではありませんか。	<ul style="list-style-type: none">●1～2時間、間をおいてみてください。●外気温度を10℃以上にします。●冷温切替えダンパ位置を正規にします。●外気風速を0.2m/s以下にします。●適正な温度に設定します。(工場出荷時：55℃)
よく蒸発しないとき	<ul style="list-style-type: none">●吸水板が汚れていませんか。	<ul style="list-style-type: none">●吸水板を水洗いします。
ブライスカードレールや商品に露がつく	<ul style="list-style-type: none">●周囲湿度が高くありませんか。●外気風速が高くありませんか。	<ul style="list-style-type: none">●27℃・60%以下にします。●外気風速を0.2m/s以下にします。

仕様

形 名		SH-321DCSC-LSN	SH-211DCSC-LSN
電 源		単相 100V (50 / 60Hz)	
消 費 電 力 (W)	全棚冷蔵	700	650
	冷蔵&温蔵 [3冷/1温]	793	770
	冷蔵&温蔵 [2冷/2温]	1072	970
	全棚温蔵	730	670
電 流 (A)	全棚冷蔵	8.1	7.6
	冷蔵&温蔵 [3冷/1温]	8.4	8.7
	冷蔵&温蔵 [2冷/2温]	11.0	10.5
	全棚温蔵	7.0	6.6
有効内容積 (L)		206	148
外 形 寸 法 (mm)	幅	898	668
	奥 行	603	
	高 さ	1499	
製品質量 (kg)		173	145
付 属 品		凝縮器フィルター・アジャストボルト・ドレン皿	
使用温度範囲条件		全棚冷蔵：RT5～32℃、RH60% 全棚温蔵、冷蔵&温蔵：RT10～27℃、RH60% 据付条件 (共通)：風速 0.2m/s 以下、周囲 10cm 開放状態	
性能保証温度条件		全棚冷蔵：RT27℃、RH60% 全棚温蔵、冷蔵&温蔵：RT20℃、RH60% 据付条件 (共通)：風速 0.2m/s 以下、周囲 10cm 開放状態	

●たえず製品改良を行っておりますので、一部仕様が変わることがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.



MEMO

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル トウシバ
0120-1048-00

受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・PHSなど 03-5326-5038 (通話料：有料)
FAX 045-461-3493 (通話料：有料)

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ
おかけ間違いのないようお願いします。

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供することがあります。

保証書 (別添)

補修用性能部品の保有期間

- この東芝オープンショーケースには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
 - この東芝オープンショーケースの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ただし、冷凍サイクル部品は2年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。
- この東芝オープンショーケースの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後8年です。
 - 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは (出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。また、食品の補償・営業補償など製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	オープンショーケース	
形名		
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください	
お名前	電話番号	訪問希望日
便利メモ	お買い上げ店名	
	電話番号	
お買い上げ店名を記入しておくとう便利です		

修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

東芝キヤリア株式会社



SN:EM99922101-①